



2016



CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2015 - 16 会長主題

一人ひとりが賜物。もっと発酵、もっと発信！

あずさ部長	標 克明 (甲府)	「ワイズメンとして一步前進」
東日本区理事	渡辺 隆 (甲府)	「原点に立って、未来へステップ」
アジア地域会長	Edward K. W. Ong (シンガポール)	“Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
国際会長	Wichian Boonmapajorn (タイ)	“Mission with Faith” 「信念のあるミッション」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 上妻英夫 / 書記 鈴木田通夫 / 会計 尾内昌吉・金本伸二郎
 直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 沖 利柯

2016年 3月例会

<BF・メネットの月>

と き 3月15日(火) 18:30~
 ところ 山手センター101室
 受付 功能文夫さん、飯島愛子さん
 司会 上妻英夫さん
 開会点鐘 会長
 モットー・ワイズソング 一同
 聖句朗読・祈祷 尾内昌吉さん
 ゲスト・ビジター紹介 会長
 会食 一同
 ハッピーバースデー
 楽しい歌
 卓話「イラク、福島で生きる人々」
 日本国際ボランティアセンター(JVC)
 事務局長 長谷部貴俊さん
 山手Yの小窓から 担当主事
 ニコニコ 一同
 諸報告 担当主事、会長
 閉会点鐘 会長

当番[第1班] 功能、上妻、尾内、飯島(愛)
 ◎TOFを実施します。

3月 HAPPY BIRTHDAY

戸坂昇子さん 25日

会費の納入は、会計(尾内君)への納入または
 下記銀行口座への振込みをお願いします。
 三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
 普通 3548431「東京山手ワイズメンズクラブ」

ワイズメンズクラブ モットー

『強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う』
 “To acknowledge the duty
 that accompanies every right”

今月の聖句

あなたはエジプトで奴隷であったが、あなたの神、主が救い出してくださったことを思い起こしなさい。わたしはそれゆえ、あなたにこのことを行うように命じるのである。

畑で穀物を刈り入れるとき、一束畑に忘れても、取りに戻ってはならない。それは寄留者、孤児、寡婦のものとしなさい。こうしてあなたの手の業すべてについて、あなたの神、主はあなたを祝福される。

申命記 24章 18-19

2月報告

会員在籍数		18名
例会出席者	メン	14名
	メネット	一名
ゲスト・ビジター		11名
会員出席率		78%
ニコニコ	一円(累計 51,014円)	

BF 国内切手 1.6kg 外国切手 1kg



2月 山手学舎訪問例会 報告

2月16日(火) 18:30~20:30

山手学舎集会室

出席: 浅羽、上妻、飯島、飯野、尾内、尾内(規)、沖、
金本、功能、鈴木田、田尻、戸坂、中村、増野
14名

山手学舎生: 11名 (敬称略)

陳朱龍(立教 4年)、小泉行徳(日本 昨年春卒)、
山口峻治(明治 4年)、山田信(立教 4年)、
松浦久哲(東京農工 4年)、割田駿光(東京外語
4年)、佐藤大介(東京 3年)、舟山慶彦(立教 2
年)、池田浩太郎(東京理科 1年)、小林太地(中
央 1年)、楊 謙(早稲田 修士1年)

合計 25名



当夜は18時15分までに山手センター事務室前に
集合し、沖さんの案内でまずエレベーターで3階に
上がり、通常はロックされている外階段に通じるド

アを開けて外階段を5階まで上がり学舎に入りました。通常は1階から5階まで階段を上がり下りしているのだそうです。

集会室は食堂も兼ねていて舎生用の冷蔵庫が数台あり、集会室の隣に共用キッチンがあります。三つのテーブルを囲んでワイズと舎生が混じり合って座ると、部屋が一杯になりました。

学舎運営委員をしている中村さんの司会、浅羽会長の開会点鐘、モットー・ワイズソング、尾内さんの聖句朗読と祈りがあって会食に入りました。ここからは司会進行を舎生にお願いしました。

舎生の皆さんから一人ずつ自己紹介があり、それに続いて山手ワイズもそれぞれ自己紹介をしました。

食事・懇談の中で舎生の皆さんの石巻支援活動の話しがでましたので、ご紹介します。

- ・入舎前から学舎のボランティア活動に憧れていた。
- ・4年間で8回ボランティアに参加し、牡蠣の養殖筏の補修、学習支援を行い、仮設住宅の人と話をした。
- ・学舎の仲間と被災地について話し合った。良い経験だった。
- ・石巻の子供たちが4年間で成長した。一方、店の復興がこれからどうなるか気になっている。
- ・被災地に入るボランティアの数が減ってきているが、山手学舎はこれからも確実に続けていきたいので、支援していただきたい。

あの3・11から早くも5年、学舎の石巻支援次の日程で行われます。

- 第1回 2/29 -3/3 牡蛎養殖筏の清掃 6名
- 第2回 3/25- 28 学習支援 4名

この3月に山手学舎を退舎するのは4年生の6人、そのうちで陳君、山口君、割田君の3人がめでたく卒業を迎えるので、山手クラブから卒業祝いとして名前入りボールペンを贈呈しました。陳君（ローソンに就職）は「逃げずに頑張っていきたい。学舎OBとして学舎を見て行く」、山口君（扶桑社に就職）は「目標を持って生きたい」、割田君（トヨタに就職）は「人との出会いを大切にしていきたい」、とそれぞれ抱負を語りました。これに対して中村さんから、「今度は社会人としてワイズにも顔を出してください」とアピールがありました。

(功能 記)

2月ヨルダン会 報告

2月24日(水)13:30~15:00 山手センター303
 出席：浅羽、上妻、尾内、沖、功能、鈴木田、中村、7名

- 1、新年度山手クラブ役員案
 会長 金本伸二郎
 副会長 尾内昌吉
 書記 増野 肇
 会計 中村孝誠
- 2、新年度のヨルダン会の開催時間について
 金本新年度会長の仕事の都合上から、ヨルダン会の開催時間を第4水曜日7時~8時に変更する案につき協議し、特別の議題が無い場合は第3水曜日の例会と合わせて開催することも考慮することとして、原則了解した。
- 3、山手学舎訪問例会は新年度も年1回予定する。
- 4、例会でのニコニコの袋を回す時間について、卓話者の卓話中は回さないように配慮し、「山手Yの小窓から」の話しの間に回すようにする。
- 5、3月例会卓話者は日本国際ボランティアセンター(JVC)の長谷部貴俊事務局長 にお願 います。TOFを実施する。
 4月卓話者 島田茂YMC A同盟総主事
 5月卓話者 松浦幸子さん(増野さん友人、社会活動家、料理店経営等)
- 6、会計報告(尾内) 学舎後援会費1万円を支出。
- 7、その他、
 山手学舎退舎式 3月19日
 ブリテン3月号印刷・発送 3月4日14時



あずさ部きさらぎ評議会

尾内昌吉

2月(如月)13日第2回評議会が松本クラブのホストでヒマヤラ杉に囲まれた「あがたの森公園」内にある重要文化財「旧制松本高等学校」校舎を使用し開催された。

真冬のことで天候が心配されたが幸い暖かく雪もなく過ごす事が出来た。山手クラブからは次期部長、現会長浅羽さんと小生が出席した。

第1号議案「次期あずさ部役員」が満場一致で承認されたが、役員の半数は女性であることが注目される。

その他準備された議案書が審議され承認された。また例年の如く各事業主査及び各クラブ会長より活動報告があった。

特記事項 今回の評議会では6テーブルに分かれて食事をしながら、各クラブ会長がリーダーとなり「あずさ部を元気にするには」をテーマに分団討議を行った事があげられる。纏めは各リーダーよりあったが、① 評議会にも議決権者以外でも皆で参加しよう。それには部会も含めて楽しい会にしよう。② 地域交流をはかってゆこう。③ ネット会にも参加しよう等の意見が発表された。

最後に長野での第19回東日本区大会のアピール等があり閉会となった。

.....



3月卓話者のご紹介

長谷部貴俊さん

日本国際ボランティアセンター (JVC) 事務局長

福島県出身。県立福島高校卒。学部生時代は日本国内の外国人労働者支援に取り組み、大学院修士課程では農村開発を専攻。他 NGO 勤務を経て、05年6月より JVC に参加。アフガニスタン事業担当を経て、08年1月よりアフガニスタン現地代表を兼任。現地での事業運営と政府への提言活動などを行う。12年より現職。他に、つながっぺ南相馬理事、日本平和学会国際交流委員。

【著作】『「テロとの戦い」と NGO』(終わらな
き戦争に抗う・新評論、2014) など。

◎JVCは日本で最初に来た国際人道 NGO として、
海外の難民支援(イラク、パレスチナ、アフガン)、
ラオス、タイ、カンボジア、南 アフリカ の農村
開発に携わり、また、3・11以降は 福島県相馬
市でも 被災者支援を続けている。 人道団体の中
でもオピニオン・リーダー的な団体。

.....

出向を終えて帰任するにあたって

田尻忠邦

東京山手ワイズメンズクラブの皆さま、あつという間の3年間でしたが、温かくクラブに迎え入れて下さり本当にありがとうございました。大阪 YMCA 時代は、担当主事という立場での関わりでしたが、YMCA 同盟出向後は職責上とはいえ、東日本区の連絡主事として、そしてワイズマンとしてワイズメンズクラブの活動をさせて頂けた事は、とても貴重な経験となりました。

特に2013年の山手クラブ創立60周年記念例会に出席出来たのは、とても有意義なことでした。DBCである大阪茨木クラブのみなさんとの東京での再会は、嬉しい驚きでした。また、山手クラブは東日本区においても老舗のクラブということもあり、クラブ会長や会長歴任者に多数ご出席いただいたことには、クラブの風格を感じさせられました。

私は、大阪YMCA帰任後も何らかの形でワイズメンズクラブの活動には関わっていくこととなりますが、これからは東日本区大会にもできる限り参加するようにして、山手クラブのみなさんと旧交を温めたいと思いますので、よろしくお願いたします。

<私の福島・フクシマ No. 8 >

「私の福島」

田尻忠邦

昨年11月20日、21日と全国社会福祉協議会が主催する「ボランティアフェスティバルふくしま」というイベントに参加する機会を与えていただきました。会場は JR 郡山駅からシャトルバスで15分くらいの所にある「ビッグパレットふくしま」という、とても立派なイベント会場でした。この

施設は、東日本大震災の時には避難所として使われていたそうです。

天井はとても高く、床はPタイル張りで、会場は暖房が入っていても午前10時の集合時間には、非常に寒いと感じました。ここで地震発生からしばらくの間、避難生活を余儀なくされた皆さんの大変さは、想像に難くありません。また、会場の近くには、300戸ほどの仮設住宅がありました。週末にもかかわらず、人の気配はあまりありませんでしたが、まだまだたくさんの方が、ここで暮らしていらっしゃるようでした。仮設住宅の敷地は、近くにはある JR のコンテナヤードか、ビッグパレットふくしまの駐車場の一部を利用したのか、居住者用の駐車場も備えた広大な土地でした。しかし、周りは、大型電器店や紳士服店、それにビジネスホテルやボーリング場、大手カーディーラーが道路沿いの両側に並ぶという典型的な郊外型の商業地区です。近くにはマンションや住宅地はありません。仮設住宅の住民だけで完結するコミュニティがあるだけでした。

ですから、もともと住んでいた地域に隣接した仮設住宅ではなく、入居を希望する人たちがいち早く収容する目的で建築された仮設住宅だと思います。ある資料によると、今でも岩手、宮城、福島、三県で9万人の被災者が仮設住宅に暮らしているとのこと。この避難所一つを取り上げても、復興の二文字からはほど遠い事を痛感させられました。東日本大震災の被災地には、まだまだ何十、何百ものこのような仮設住宅がある事を思うと何もできないことの無力感にさいなまれます。唯一できることとして、被災地の皆さんの事を忘れずに寄り添っていければと思います。

.....

◎田尻さんは13年5月の山手例会に初めて出席、7月に入会されました。4月から大阪YMCAに帰任されます。どうぞお元気で！

▼第2回ピース・ボヤージのご案内

このプログラムは、NGOピースボート (<http://peaceboat.org/home.html>) の船を用いて船上で実施され、世界YMCA同盟・日本YMCA同盟・韓国YMCA連盟・ワイズメンズクラブ (アジアエリア) により共同で運営されるものです。

アジアを中心に世界のYMCAの仲間と出会い、共に平和について考える機会とするべく、船上ではさまざまなプログラムが予定されています。

YMCAでの立場や世代を問わずどなたでもご参加いただけるプログラムですので、会員の方にもぜひご紹介ください。詳細問い合わせは国際部の日野さんにお問い合わせください。

記

日程：2016年3月31日～4月8日

航路：横浜港～佐世保～韓国済州島～広島～横浜港

対象：資格、年齢の制限なし (通訳サポートあり)

費用：¥89,000～¥219,000

(部屋のクラスにより異なる)

締切：2月20日 (土)

申込：国際部 (日野) を通して日本YMCA同盟へ

▼東日本復興支援 街頭募金のご案内

山手コミュニティセンターでは東日本復興支援街頭募金を **高田馬場駅前** にて実施します。今年は2回に分けて実施を予定しておりますので、ご都合の良い時間帯にご一緒に呼びかけをしていただけませんか。

また、お時間のない方は募金にご協力いただければ幸いです。集められた募金は東京YMCA復興支援募金として、石巻や福島での支援活動を中心に用いさせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

第1回 3月6日 (日) 11時～14時

第2回 3月13日 (日) 11時～15時

(沖 利柯)

<青鹿博明さん> 花咲く頃、月・水曜の10時～14時 (現在許されている自由時間) を使って自分の周囲を見てみたいと思っています。

<上妻英夫さん> 「裏通り若木紅梅綺麗咲き」。近くに大学新校舎が出来て暫くになるが、その時植えられた何本かの若木紅梅が1本だけ綺麗な花を寒風の中咲き見せている。

<浅羽俊一郎さん> 先月は山手学舎へ押しかけ例会を挙行。学舎へお礼のハガキを出しました。「学舎の皆さま、2月の例会では学舎を訪問し、皆さんと食事と交流のひとつときを楽しませてもらいました。今回私達の方から歩み寄り、何かをつかもうとしましたが、私個人としては石巻支援についての発表に感銘を受けました。改めてお礼申し上げます」

<鈴木田通夫さん・祐子さん> テロより恐ろしい「蚊」の脅威。それはマラリヤの他、ジカ熱、デング熱、日本脳炎、皆「蚊」が原因。その蚊が私たちの側にいるかもしれません。気をつけましょう。

編集後記

○3月に入りました。街の中を散歩していてふと紅梅や白梅の咲く庭を見つけると嬉しくなります。○3月はまた、現役の人たちにとっては異動、昇進、転勤、子供の進学などが気になって落ち着かない月でもありますね。

○わが山手クラブでは、田尻さんが日本YMCA同盟での3年間のお仕事を終えて大阪YMCAに帰任されるので、山手クラブの方は3月末をもって退会されることになります。名残惜しいことですが、でも、田尻さんは3年間、東京に単身赴任でしたから、4月からはご家族とご一緒の生活に戻られることはたいへん結構なことです。

○3月例会では、田尻さんとの3年間のお交わりを感謝し、大阪YMCAでの更なるご活躍を期待し、次の出会いの機会を楽しみにしつつ、お送りしたいと思います。(F. K)